

医療・医学を通じたアジアへの貢献 ②

モンゴル国におけるじん肺・ アスベスト関連疾患の 診断と治療の向上のために



第2回実践ワークショップ・レポート

はじめに

今回のワークショップは、昨年度に引き続き2回目の開催となる。前回は8月上旬（平成22年8月4日～5日）に2日間の開催であったが、今回はモンゴル国からの強い希望により、同国医師のサマーバケーションが終了し、通常業務に戻った9月中旬に3日間という日程で開催し、同国におけるトップレベルの医師集団が受講できるよう調整がなされた。

昨年度に行われた第1回ワークショップを踏まえ、さらに充実したものとするため、今回のワークショップでは、以下の新しい試みを行った。

- ① 本ワークショップのテーマとなっている「粉じん」と「アスベスト関連疾患」に加えて、労働者健康福祉機構「労災疾病等13分野臨床医学研究」で取り組んでいる「振動障害」、「産業中毒」をはじめとする他の11疾病についても、その研究成果を報告した上で、モンゴル国からの要望があれば、機構が蓄積しているこれらの疾病の貴重な診断・治療等に関する知見・情報を提供できる、との明確な方向性を示した。
- ② 昨年度は岡山労災病院から2名、北海道中央労災病院から1名の医師を派遣したが、今回は両病院から各1名を加えた、総勢5名の医師を派遣した。また研修期間も1日延長して計3日間として充実した指導内容とした。そのため、昨年度は総括的な講義に留まっていた両分野で、個々の症例を診断から治療に至るまでの臨床経過も加味し、相当深く掘り下げて、紹介することができた。
- ③ 胸部X線の読影実習は、昨年度も参加者が最も興味を示して参加した題目であったが、今年度は参加者をいくつかのグループに分けて、テスト形式で回答を求めるスタイルで読影実習を行った。その結果、昨年度以上に参加者の議論が盛り上がり、熱の籠もった実習となった。
- ④ 参加者に対して意識調査（アンケート）を実施し、参加者の満足度のほか、将来のワークショップ開催時の参考とするべく、要望についての調査を実施した。

上記に加え、さらに今年度は、モンゴルにおけるじん肺やアスベスト関連疾患の現状と、それらの背景となる環境等を併せて知るべく、国立労災疾病・労働環境センターや、ウランバートル市内の火力発電所を訪問した。

以下に、3日間のワークショップの内容を「講義・講演編」、「読影・症例研究編」、「調査・視察・訪問編」の3パートに分けて報告するとともに、今回初めて参加した北海道中央労災病院の大塚義紀医師、岡山労災病院の藤本伸一医師による参加報告を収録した。また、巻末には「資料編」として今回のワークショップで使用されたスライドを収録した。

最後に、本ワークショップの実施にご尽力いただいたモンゴル国及び日本の関係各位に御礼申し上げるとともに、前回に引き続き様々な形で私どもをリードし、本ワークショップの成功に多大なお力添えをいただいたVanya Delgermaa先生に心より感謝申し上げます。

平成24年3月

じん肺とアスベスト関連疾患の診断のための第2回実践ワークショップ 実施スケジュール

1日目 2011年9月15日(木)

時 間	内 容	講 演 者
9:00-10:00	モンゴル保健省及びWHO 事務所 訪問	
9:00-10:00	受 付	
10:00-10:30	開会の辞：モンゴル保健省 WHO 日本側代表者 (清水院長)	
10:30-11:00	講演 ：日本におけるじん肺及び石綿関連疾患等の職業性疾病の発生状況	高嶋主査
11:00-12:00	講演 ：じん肺の基本的病態生理	木村院長
12:00-13:00	昼 食	
13:00-14:00	講演 ：じん肺の臨床治療診断とX線パターン(炭鉱夫じん肺)	大塚部長
14:00-15:00	講演 ：その他のじん肺	木村院長
15:00-17:00	実践クラス ：じん肺胸部X線フィルム読影 (2011年における日本の新じん肺標準写真を含む。)	木村院長 大塚部長

2日目 2011年9月16日(金)

時 間	予 定	講 演 者
8:40-9:00	モンゴル国立健康科学大学(HSUM) 訪問	
9:00-9:30	講演 ：労働者健康福祉機構における労災疾病等 13分野研究の成果(振動障害及び産業中毒)	高嶋主査
9:30-10:15	講演 (症例研究)：炭鉱夫じん肺の症例研究(2症例)	大塚部長
10:15-11:00	講演 ：石綿肺の診断	岸本副院長
11:00-12:00	実践クラス ：じん肺胸部X線フィルム読影(モンゴル・ケース) と石綿肺のフィルム読影	全員
12:00-13:00	昼 食	
14:00-16:00	火力発電所 訪問	
17:00-18:00	国立労災疾病・労働環境センター(SPH) 訪問	

3日目 2011年9月17日(土)

時 間	予 定	講 演 者
8:40-9:10	プレゼンテーション ：モンゴルにおける石綿関連疾患の低減と使用中止に向けた保健省の取り組み	モンゴル保健省
9:10-9:30	プレゼンテーション ：モンゴルにおける石綿関連疾患症例研究成果(後援：MOH及びWHO)	HSUM公衆衛生学院
9:30-10:30	テスト・トライアル ：石綿肺を含むじん肺の胸部X線フィルム読影	全員
10:30-11:30	講演 ：悪性中皮腫の診断	岸本副院長
11:30-12:00	講演 ：胸膜中皮腫の治療	清水院長
12:00-13:00	昼 食	
13:00-14:00	症例研究 ：石綿関連疾患	藤本部長
14:00-15:10	実践クラス ：石綿関連疾患の胸部X線フィルムとCT画像の読影	岸本副院長 藤本部長
15:10-15:20	ワークショップに対する意識調査(アンケート)	高嶋主査 Delgermaa医師
15:20-15:45	閉会の辞及び修了証授与	モンゴル保健省 SPH、HSUM

〈参加メンバー〉

清水 信義 岡山労災病 院長
 木村 清延 北海道中央労災病 院長
 岸本 卓巳 岡山労災病院 副院長
 大塚 義紀 北海道中央労災病院 第二内科部長
 藤本 伸一 岡山労災病院 第二呼吸器内科部長
 高嶋 結花 医療事業部勤労者医療課 研究班主査